

令和7年5月22日

議長選挙に係る所信表明会

(開会時間：午前10時04分)

○小坂博司副議長

ただいまから、議長選挙に係る所信表明会を開会いたします。所信表明の申出は申出順に、湯浅佐太郎議員、小柳はじめ議員から提出されております。

これより、申し出順に所信表明を行います。時間はそれぞれ概ね5分の範囲でお願いいたします。

最初に、湯浅佐太郎議員の推薦人は、比企広正議員、若月学議員、宮崎光夫議員、板垣功議員、五十嵐良一議員、宮野清隆議員、高橋茂議員であります。

それでは、湯浅佐太郎議員、登壇の上、所信表明をお願いいたします。

[湯浅佐太郎議員登壇]

○湯浅佐太郎議員

おはようございます。令和会の湯浅佐太郎でございます。

議員各位には、発言の機会を頂き誠にありがとうございます。そして、この度の議長選挙の立候補にあたり、推薦を頂きました令和会の比企広正会長はじめ7名の議員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、議会議長立候補の所信と言いますか、決意の一端を表明させていただきます。私が市議会議員になって14年が経過しました。

新発田市は間違いなく住みよいまちです。おいしいものが米をはじめたくさんあります。もっと自信を持っていくべきだと思います。二階堂市長は市街地にヨリネス、イクネス、アイネス等新発田の顔となる施設を置きました。議会としましては今後の新発田において、その顔を支え、なおかつ発展させるためには頑丈な体を、すなわち手、足、腰を強化する必要があると考えております。

その一は農業、土木、建築を足腰としてしっかり立て直さなければ、そして強化しなければ市民も市内各所に出向いて遊びでも買い物でも来てはくれません。市内各所の公共建造物や上下水道、主に橋や道路の維持管理にも多額の予算を必要とします。農業はこれからも大事な基幹産業ですし、米はもとより果樹、野菜、園芸の需要と供給のためにしっかりと育てていく必要があると考えています。

その二は、手となる商工、観光振興で他の市町村から人をいかに呼び込めるかです。議会運営委員会や常任委員会、会派の視察で皆様もよくお分かりだと思いますが、観光などはお金と人をつぎ込んでも成果がなかなか見えにくいし時間がかかります。この度のももクロ春の一大事のようなビッグイベントがいつもあるとは思えません。評価が

分かれるのが芸能や観光振興であると思います。それでも今新発田にある資産は少なくないと考えています。海から山、川、月岡温泉などは皆様がよく知る通りであります。これらの点を線に結び、面に広げていくために、皆で知恵を出し合い、議論してゆきたいと思います。今新発田の海や中山間地ではエネルギー基地としての自然活用型発電事業が進んでいます。海では風力発電、山では太陽光、小水力発電事業です。食料を確保し、エネルギーを確保し、働くところを確保できればこれ以上はないと考えています。商工業の大きな仕事だと考えます。

その三は、少子高齢化、人口減は喫緊の課題です。1年で約1,000人の人口が減ってきています。毎年行っている議会報告会でも、市民から質問があり、不安や心配の声が上がっています。今ほど申し上げた市の体、体力を強化し、食とエネルギーを確保し、誘客する手段を考え、歴史を顕彰し、文化、教育、産業をそろえていけば人は必ず帰ってくると信じています。

その四は、市民の安心と安全のために、私の消防団の経験を活かしながらもっと災害対策や減災対策にまい進していきたいと考えております。災害は忘れる前にやってきます。しかし、一番怖いのが自分だけは大丈夫だと思い込む楽観性安全バイアスです。その意識を消防団と一緒に改善してゆくことが減災対策だと考えます。私は東豊地区水害対策整備促進協議会を小川徹議員と一緒に東豊地区の8つの自治会長たちと現地調査活動しています。水害対策として市内に流れる大きな川、用水、排水の現状を一昨年から見回っています。県と市の担当者も一緒になって課題を共有しています。1時間50ミリを超える雨は脅威です。議会の災害マニュアルもありますが、全ては市民の皆さんに寄り添い、意見を聞き、議会ですっかり議論したうえで行政に反映させることが大事であると考えております。自治会、町内会と議会、行政と問題意識を共有することと、相互の信頼関係が最も大切だと思います。新発田のポテンシャルを、執行部からの提案、予算、決算はもとより信じながら、まちづくり基本計画を基に作成されている執行部提案もバージョンアップしています。新発田市議会基本条例も改選期には必ず見直しています。二元代表制とは市長及び執行部の提案をしっかり審議すること、調査すること、未来を語れるように議会からも提案できるようになること、常に、緊張感を常に持ち続け、市民の目からも評価されるようにいい仕事がしたいと考えております。

最後に議員として、住みやすいまち新発田、そして行ってみたいまち新発田、帰りたい新発田にしていきたいと思います。色々まだまだ各種問題、課題たくさんあると思いますが、所信の一端と決意の一端を述べさせて頂きました。謙虚に皆様といい議論をかわしながらいい議会を作り上げていきたいと思います。議員各位のご理解とご賛同をお願い申し上げます。何とぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

○小坂博司副議長

湯浅佐太郎議員は演壇にとどまってください。

ただ今の所信に対する質疑に移ります。時間は概ね2分の範囲でお願いします。質疑のある議員の挙手を求めます。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小坂博司副議長

質疑なしと認め、質疑を終了いたします。湯浅佐太郎議員は降壇し、自席へお戻りください。

〔湯浅佐太郎議員降壇〕

○小坂博司副議長

続いて、小柳はじめ議員の所信表明を行います。

推薦人は、阿部聡議員、惣山かすみ議員、宮本佳太議員であります。

それでは、小柳はじめ議員、登壇の上、所信表明をお願いいたします。

〔小柳はじめ議員登壇〕

○小柳はじめ議員

おはようございます。すすむ会の小柳はじめでございます。

今回すすむ会のメンバー4名、私を除き3名から推薦をいただきましてこのような所信表明する機会をいただきましてありがとうございます。また、私、結構議会の中でもわあわあ言う方なのでまたうるさいやつが出てきたと思うかもしれませんが、4分、5分ほどでございますのでちょっとお付き合いいただければと思います。

まずですね、前回2年前の改選時の議長選のときも私また同じように手をあげました。理由は一緒です。事前のその数合わせ、基本的に会派で動いてますから、会派の数を大体見ればどちらが何となく当選するかって分かる、分かります。ですから今回この私は数の数字の結論というのとは別にやはりその政治ということをやってる私の政治家としての意思として、いわば捨て石みたいなものでございますので、負けは承知でこれから述べていきたいと思えます。

そういった意味では今ほどの湯浅議員からのね、お話ありましたが、どちらかといえば行政向きのね政策向きの話が多かったんですが、私はちょっと議会の中の方のね、話をしたいと思えます。前議長、最近の議長ですがやはりどうしても対外的な公務、議長会出たりとか様々な会合に出たりとか、そういうどちらかという儀礼的な仕事はかなり多いということは非常に承知しておりますが、そういった中で残念ながら所信表明のときに、議会改革に取り組むということを私とともに誓ったはずなんですがなかなかやっばりできない事情があります。

これはやはり中の議会自体をどうするかということのやはり時間が足りないことだというふうに思うんですが、今までですね、私、総務常任委員長、そして議会運営委員長もやっておりますが、そういった中で様々ないろいろな改革に手をつけてきました。今でこそ当たり前ですけど例えばタブレット端末を皆さん使ってるじゃないですか。これ新潟県の比較的進んでると思うんですけどこのスキーム作りって結構かなり私为中心になっ

てそのときのメンバーですり合わせをしながら進めた経緯があります。例えば、今最近非常に視察が多いというね、市議会の議会報でございますが、これもあの前、今まではもうびっしり文字があって議決結果も全部出たんすよ表で。それを例えばまず、市民が見たときに、文字だけでとつても見てられないってごみ箱行きだったのを、まずは手に取って見てもらおうということを優先して、表紙には高校生を何人かをピックアップして、その裏にはそのカバーストーリーということで、その高校生たちの活動を市民の活動ということをも市民目線で取材をする。それによってまずは市民に手に取ってもらってごみ箱行きにしないっていうまずここが一つ目的だったんですね。

その後市民と、それから議会と共通の課題を特集で毎回組もう、これも続いております。その後ですね例えばその議決結果についても今まではもう全部出たんです表で。それを市民に関係あること、また市民が興味の非常にあること、こういうものをピックアップして、わかりやすくイラスト入りで写真で出していこうというこういうようなこともいたしました。

あとデザインもがらっと変えて、今まで一応モノクロだったんですけど、全部カラー化して見やすくしたとか。そのためには、とりあえず予算が足りない、足りなくなりますからね。その分、どうやって予算捻出するかということで、今まで1人半ページだった一般質問文字がぱっと入ってるんですけど、これはもう簡潔にして、QRコードで動画で見ていただく代わりに、市民に配るものについては、本当にシンプルに3人ページに入れることによって予算を捻出したりとか。

そのようなスキームをがらっと変えたんですけど、これ一つずつ本当大変だったんですけど、これを約2年間かけてやりました。もちろん本当にその議運のメンバーそれから、全議員のなんていうかやっぱりこうしなきゃいけないってやっぱ思いが一つにまとまったんで非常にいい形で進んだと思います。そういった中で、一つのこれとセットでやるものとして広報広聴機能の強化っていうのがありました。実際ウェブ報告会っていうのも始めたんですがこれもようやく形になっていっております。ただ私が退任してからねようやく本格的に動いたということもありますが、広報広聴に関しては、委員会を正式に立ち上げて、機能を強化するというこれも私が中心となって推し進めた効果で結果でございます。

それからですね、非常に視察もこれ多かったりとか、それからもうローカルマニフェストの議会改革度の順位が出るんですが、一番いいとき150位ぐらいまでいったんですよ。新潟県内では3位まで入ったと思うんですけど、今回残念ながら新潟県では、ランク外また200位以下に落ちてしまったという経緯があります。ですからマニフェスト大賞にエントリーする。そして議会改革を粛々と進めていくっていうこういうのが若干後退してるんじゃないかなというふうに思います。そこについてはまた復活させたいというふうに思っておりますので、ぜひとも私はそれを進めていきたいというふうに思うんです。一つ委員会のウェブ中継はいずれやるということになってるので未だにやってみせ

んが、これはぜひやりたいと思います。またリアルで年2回程度でやっている議会報告会は毎月できればやりたい、最低でも各定例会ごとにはやりたいというふうに思っております。

また委員会へのオンライン出席っていうのもこれは意見書を出しました。県内で初めてになりますが、なかなかその人間がいなきや駄目というルールがあるんですがこれオンラインできるようにしようということで、ただ、これも意見書を出したけど新発田市委員会の中でルール作りはまだできてないんですね。これもやっていこうって言って、まだ放置されてる結構こういうのがいっぱいあるんですよ。

私は以外にもですね、ウェブA I なんですとか採決のIT化ですね...

○小坂副議長

小柳議員、5分を過ぎてますのでまとめてください。

○小柳はじめ議員

はいということで時間もなつたんですが、とにかく私はですね、この議会のやり残した課題、これをどんどん進めまして、チーム議会そもそもね二元代表制ということで市長に対抗するためには議会としてまとめる必要があります。チーム議会これをやるために改革をどんどん進めていきたいというふうに思います。以上で私の所信といたします。ありがとうございました。

○小坂博司副議長

小柳はじめ議員は演壇にとどまってください。

ただいまの所信に対する質疑に移ります。時間は概ね2分の範囲でお願いします。質疑ある議員の挙手を求めます。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小坂博司副議長

質疑なしと認め、質疑を終了いたします。小柳はじめ議員は降壇し、自席へお戻りください。

〔小柳はじめ議員降壇〕

○小坂博司副議長

議員の皆様申し上げます。ただいま行いました議長選挙に係る所信表明は、地方自治法で規定している議長選挙を変更するものではありません。

所信表明の有無にかかわらず、全議員が選挙人であり、被選挙人でもあります。

所信表明者以外の議員に投票することも可能でありますので、念のため、申し上げます。それでは、議長選挙に係る所信表明会を閉会いたします。

なお、本会議の再開は10時25分といたします。

(閉会時間：午前10時20分)